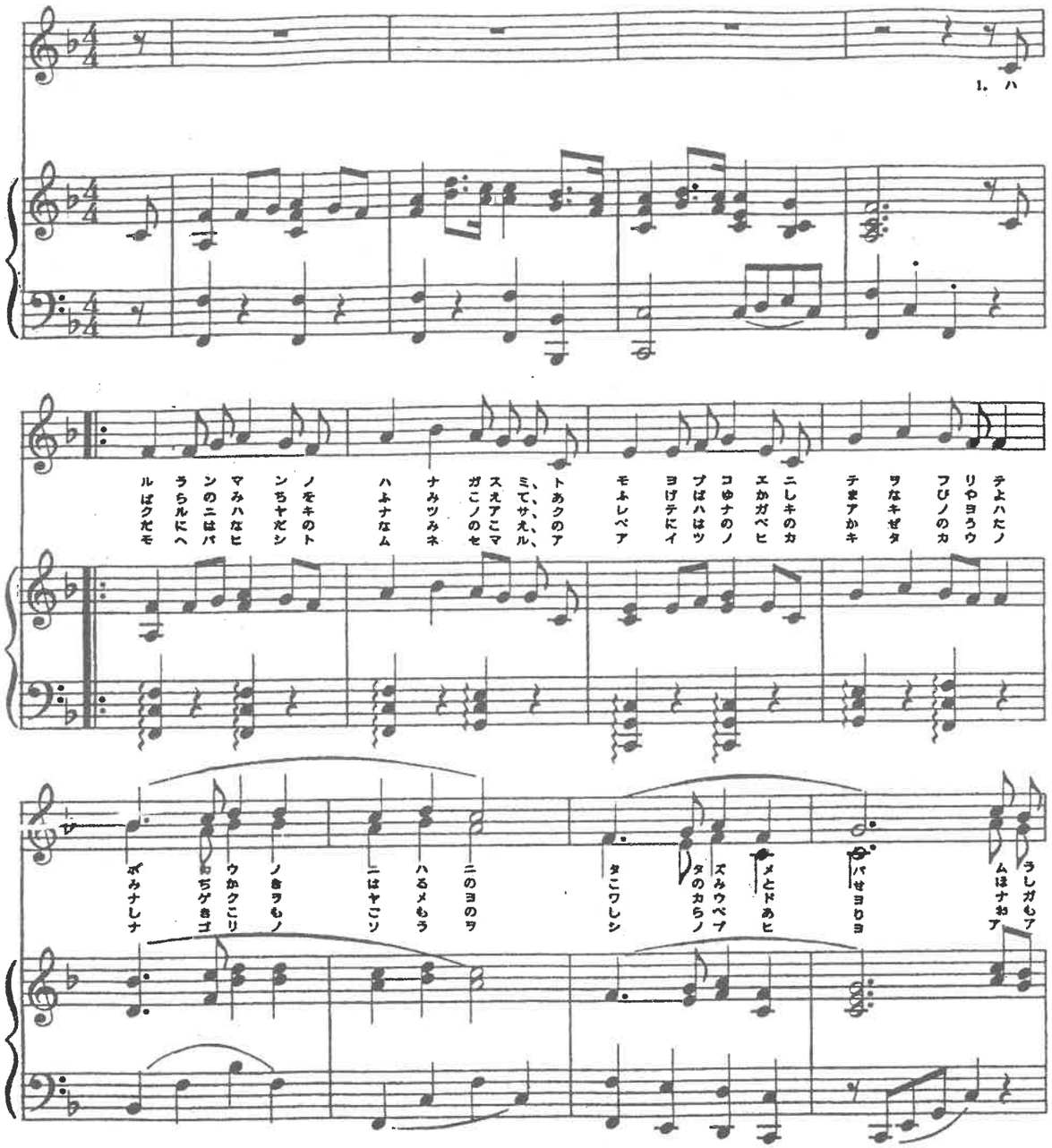
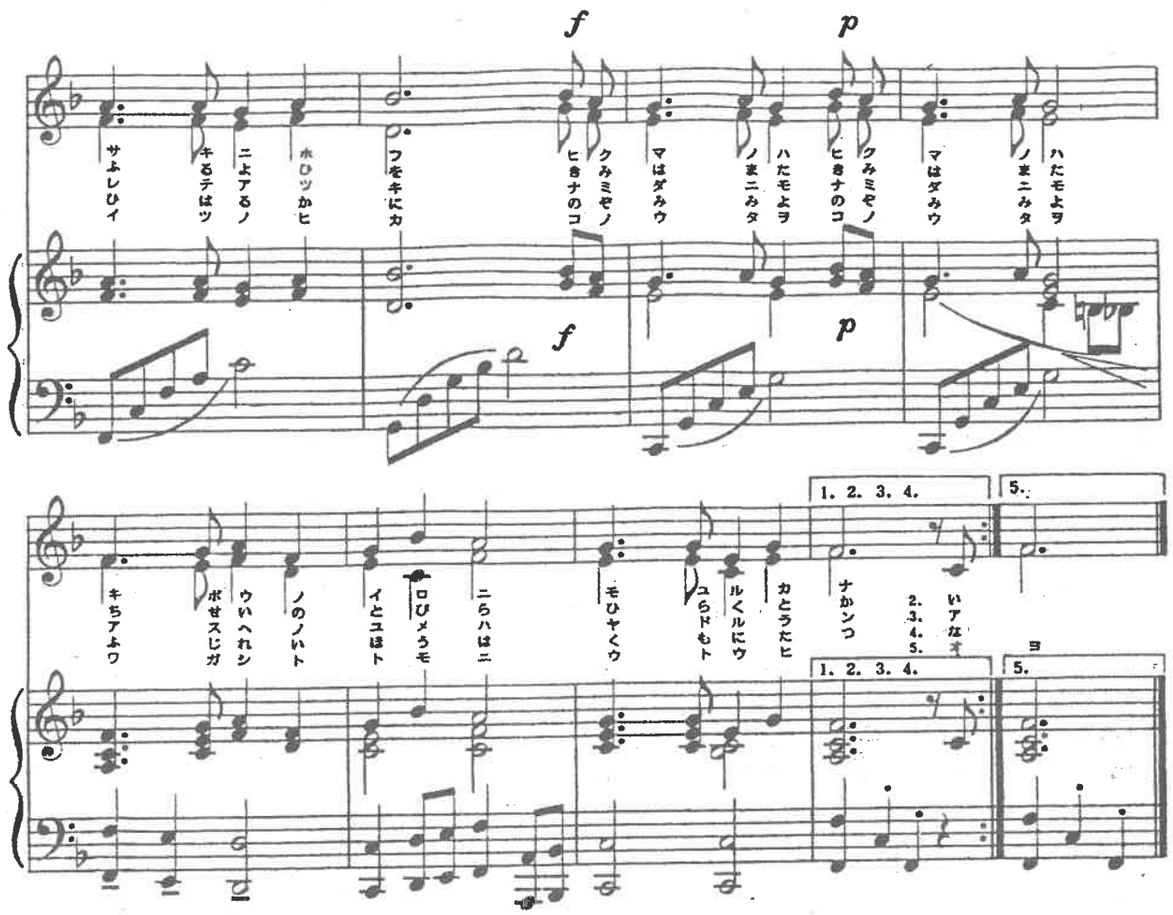
静岡県立浜松北高等学校 生徒の歌

大地に萌ゆるもの

作詞 清水みのる
作曲 木下 忠司





昭和三十九年　創立七〇周年記念
浜松北高等学校生徒の歌

「大地に萌ゆるもの」

作詞　清水みのる
作曲　木下忠司

一、春　燗漫の　花がすみ、
友呼ぶ声に　手を振りて、
母校の校庭に　佇めば、
むらさき匂ふ　曳馬野は、
希望の色に　萌ゆるかな。

二、茨の道を　踏み越えて、
仰げば床し　学舎よ、
短き青春の　この三年、
星降る宵を　君は又、
知性の扉　開くとか。

三、明くるに早き　夏の朝、
昏れては長き　秋の夜半、
嘆くを止めよ　若人よ、
流れて熱き　涙にも、
明日への夢は　宿るらん。

四、麓には麓の　波の声、
野辺には野辺の　風の歌、
四季、交々の　調べあり。
想ひ遥かに　望み見よ、
富士　駒峰は　雲に立つ。

五、思へば森と　詞迫る。
ああいつの日か　北高の、
名残の空を　偲ぶ日よ。
ああ　いつの日か　この歌を
わが師と共に　謳う日よ。